

= 支部だより = 北信越支部

北信越支部地区学習会の報告

< 報告 >

行事名：新潟地区学習会

題 目：「本州と北海道の降雪特性・降雪機構の比較」

講 師：力石國男 弘前大学理工学部地球環境学科教授

日 時：2002 年 10 月 21 日（月）16:30? 18:00

場 所：新潟大学積雪地域災害研究センター3 階

参加者：28 名

学習会では，始めに本州と北海道の降雪特性の比較，続いて地形や大気大循環による局地的な降雪特性，そして最後に温暖化の影響についての講義が行われた．各話題に関するまとめでは，例えば「北海道は気圧配置の影響が少なく局地的な分布で，少量の雪がコツコツと降ってそれが融けにくい．」「北陸では大量の雪が一気に降る．」「盆地に風が吹き込み収束する場合は降雪が増える」等々，実生活を振り返っても，なるほど納得のいくものばかりであった．

しかし特に感心させられたのは，降雪地域に住む人ならば誰しもが実生活を通して体験しているであろう漠然とした事象を，アメダスやロボット積雪深計といった，言わばありふれたデータから数値化し，様々な統計手法を駆使して，具体的な結果へと加工していく手法と着眼点であった．

今回の学習会は，研究に必要なのは目新しいデータばかりではなく，既存のデータでも解析手法によっては十分に有意義な研究が行えるという見本であり，同分野に限らず若手の研究者や学生には今後の研究活動を行う上でのよい指標となった．

（新潟大学自然科学研究科 庄司淳 記）

< 報告 >

行事名：新潟地区学習会

題 目：「観測による土佐湾の海陸風の構造」
講 師：千葉修 高知大学理学部教授
日 時：2002 年 11 月 14 日(木) 16:30? 18:00
場 所：新潟大学積雪地域災害研究センター3 階
参加者：14 名

今回の学習会では、高知大学の千葉修先生を講師としてお招きし、土佐湾の海陸風の内部構造に関する先生の長年の研究成果を報告して頂いた。今回は特に、

- ・高知県の海風の特徴
- ・ヘリコプターによる土佐湾海風の観測
- ・陸風と夜間冷氣流の観測

の3つのテーマに焦点をあて、気象データ、ヘリコプターや音波レーダーを用いた観測結果の詳細を紹介して頂いた。

ヘリコプター観測のVTRでは、海面上において海岸線に平行に、海風に起因する筋状模様が発生することが確認され、ヘリの気象データの解析からこうした波列は海面上を吹く海風先端を後方から後援する二次的な流れによって発生することが明らかにされた。

また、夜間における陸風と冷氣流の観測では、音波レーダーを用いてこれら二つの流れの同時観測に成功した貴重な例が紹介された。レーダーの受信信号をもとに作成された可視化画像では、まず陸風が平野部から海岸へと流れ、それを追従する夜間冷氣流が陸風の下に潜り込んだ二重構造を形成していることが明瞭に示された。今回紹介された、音波レーダーによる大気構造の可視化とその有用性は非常に興味深いものであり、こうした手法は本学習会のテーマである海陸風の構造解明にとどまらず、その他多くの大気境界層内の現象解明に役立つと考えられる。

(新潟大学積雪地域災害研究センター 根本征樹 記)

支部だより
北信越支部

2002 年度 新潟地区積雪調査法講習会の ご案内

講習題目：積雪調査法

日時：2003 年 2 月 22 日(土) 9:00～15:30
(受付 9:00～9:30)

場所：長岡市栖吉町前山 187-16

(独)防災科学技術研究所長岡雪氷防災研究所

内容：積雪の基本的性質の測定法(積雪断面観測，
含水率，力学的性質等)

定員：16 名(先着順)

講師団：日本雪氷学会会員(遠藤八十一氏，和泉
薫氏，佐藤和秀氏，佐藤篤司氏，竹内由香里
氏)

参加費実費：正会員・学生 = 2000 円，賛助会員 =
2500 円，一般(非会員) = 3000 円

主催：(社)日本雪氷学会北信越支部，(独)防災科
学技術研究所長岡雪氷防災研究所

[問い合わせ・申し込み]

氏名，連絡先住所，所属，TEL/FAX，会員種
別を記載して FAX または郵便にて下記へ申
し込んで下さい。尚，申し込み・受付者には
詳細な講習会要領をお送り致します。

〒940-1103 長岡市曲新町 2-12-11

田村雪氷計測研究所 田村盛彰

TEL:0258-33-3820, FAX:0258-33-3821

積雪調査法講習会申込書

氏名：_____ (一般(非会員)，賛助会員，正
会員，学生) ○ 印願います

所属：_____

連絡先・住所：〒_____

電話：_____ F A X : _____

(北信越支部理事 田村盛彰 記)

**第 16 回北信越支部総会および研究発表会・製品
発表検討会のお知らせ**

日 時：2003 年 5 月 23 日（金）-24 日（土）
場 所：福井県鯖江市文化センター 鯖江市東鯖
江 3 - 6 - 10 Tel:0778-52-7430
（JR 鯖江駅東口から徒歩 10 分・鯖江イ
ンターから 5 分）

参加費：無料

予稿集：発表予稿集掲載の「雪氷北信越 23 号」を
当日配付します。（非会員は有料）

（詳細は、雪氷第 64 巻第 2 号（3 月）および北信
越支部ホームページ([http://www.seppyo.org/
~hse/](http://www.seppyo.org/~hse/))にてお知らせ致します）

参加申込等の要領：

参加申込：必要事項（氏名，所属，連絡先，総会・
発表会・懇親会の参加・不参加）を記載
した参加申込用紙を，下記送付先へ郵送
または F A X，電子メール等でお送り下さい．
4 月 23 日(水) 必着

予稿原稿提出：発表を希望される方は，下記の
原稿執筆要領に従って予稿を作成し，発
表申込票と併せて郵送下さい．
4 月 23 日(水) 必着

送付先：〒940-1103 長岡市曲新町 2-12-11
田村雪氷計測研究所 田村 盛彰
（Tel:0258-33-3820, Fax:0258-33-3821）
電子メール：moriss.tamura@nifty.ne.jp

発表予稿原稿執筆要領：

原稿は「雪氷北信越 23 号」にそのまま印刷され
ますので，以下の点に留意して下さい．

- ・ 予稿は 1 ページとします．
- ・ A4 判上質紙を用い，左右に各 20mm，上下に各
34mm の余白をとって下さい．（印刷範囲は縦

229mm, 横 170mm),

- ・原稿は約 88%に縮小して印刷されることを考慮し, 字の大きさ等を調整して下さい. 概ね 1 行 48 文字, 1 ページ 42 行以内が目安です.
- ・第 1 行目の中央にタイトルを, 第 2 行目に氏名と所属を右詰めで書き, 1 行あけて本文を書き出して下さい.
- ・発表申込票 (別紙で, 様式自由) に下記の事項を記して同封してください.
氏名 (所属略記, 発表者に○), 題目,
連絡先, 発表種別 (1. 研究発表会 または 2. 製品発表検討会)

注意: 電子メールやフロッピーによる原稿は受け付けていません. 印刷原稿を郵送にてお送り下さい. 締切りを過ぎた原稿は「雪氷北信越 23 号」に掲載できませんのでご注意下さい.

「雪氷北信越」23号発行のお知らせと自由投稿文・広告の募集

北信越支部編集委員会では 2003 年 5 月 23 日 (金) に「雪氷北信越」23 号の発行を予定しております. 付きましては自由投稿文と広告を募集いたします. 下記の要領で奮ってご投稿下さい.

1. 自由投稿文: 解説・紀行・随筆・評論・文献

紹介・実験観測技術ノウハウ等

字数は 4000 字程度 (A4 で 4 ページ以内), 予稿の執筆要領に準じて下さい.

提出は A4 に印刷した完成原稿を下記住所へ郵送して下さい. 電子メールでの投稿は, できるだけご遠慮ください. 場合によっては, MS-WORD ファイルまたは MS-DOS テキストファイルをフロッピーで郵送いただくことも可です. ご相談に応じます. ただし, フロッピーでの一太郎文書は解読不能です.

2. 広告募集: 1 ページ, 半ページ単位で申し受けます.

- ・ 中 1 ページ: 2 万円 ・ 中半ページ: 1 万 2 千円
 - ・ 裏表紙表: 5 万円 ・ 裏表紙裏: 3 万円
- ご希望の方は版下を作成して下記へ申し込み下さい.

3.申し込み・提出・連絡先：

〒940-1103 長岡市曲新町 2-12-11

田村雪氷計測研究所 田村 盛彰

電子メール: moriss.tamura@nifty.ne.jp ,

TEL:0258-33-3820, FAX:0258-33-3821

提出期限:2003 年 4 月 23 日(水)